

平成29年度学年末学校自己評価集計

H30.2.22
夷隅小学校

■実施の目的

○本年度の経営の重点に基づき各自の実践を振り返るとともに、次年度へ向けて教育目標や経営の重点、教育計画策定の資料とする。

■実施期間 1月24日(水)～1月30日(火) ■対象 本校教職員18名

■提出期限 1月31日(水)

■結果の公表 2月16日(金)

■回収率 100%

<評価>

4・・・とてもよい	★成果と今後の課題のところは、次年度教育計画作成に活かす(改善する)観点から、必ず記述してください。課題については、具体的な改善策を記入するようお願いします。
3・・・よい	
2・・・不十分である	
1・・・ほとんどできていない	

I 学校運営について

項 目	評 価			
	4	3	2	1
今年度の経営方針のもと、教職員に重点目標の徹底が図られている。	11	7	0	0
校務の分担内容や処理方法が明確になっている。	11	7	0	0
自分の校務分掌の仕事に積極的に取り組んだ。	7	11	0	0
各分掌は評価が適切に行われ、取り組みについて反省や実態に合わせ教育計画の加筆・修正を行っている。また、資料・記録が次年度の運営に活かされるようになっている。	5	12	1	0
分掌間・学年間・上司との連絡調整がとれ、協働する体制ができていた。	12	6	0	0
学校や学級の運営状況や児童の活動の様子等、その他学校情報を家庭や地域に進んで発信できた。	8	10	0	0

<成果と今後の課題>

- ・統合1年目ですが、職員が連絡を取り合いながら協力できたと思います。
- ・分掌間や学年間など話しやすい雰囲気がとてもよかった。
- ・報告、連絡、相談を先生方が意識できていたと思う。
- ・学年便りの内容を検討する必要がある。子どもの様子が少ない。
- ・次年度の運営に活かせるようにアンケートを実施したが、まだまとめをしっかりとしていない。2月で授業がすべて終了するため、次年度に活かせるように指導案、ワークシート等修正しておく。
- ・生徒指導や保健、出席統計など、関係する校務分掌間の連絡が取れているように感じます。
- ・合併したことにより、両校の進め方の違いで戸惑ったところもあったと思いますが、両校の良いところをとって取り組めたと思います。
- ・連携を図りながら仕事に取り組むことができた。
- ・反省や修正をして次年度に活かせるよう取り組んでいきたい。

II 確かな学力の定着を図る授業づくり

基礎基本の定着に積極的に取り組み、8割方定着させることができた。	1	13	2	0
授業では、ねらいを明確にして、問題解決的な学習に努めた。	4	12	0	0
児童一人一人の躰きを明らかにして学習内容の習熟の程度に応じた指導など、個に応じた指導の工夫をした。	2	14	0	0
年間指導計画に基づいた計画的な授業を行い、各教科の授業時数を確保できた。	6	10	0	0
体験的な学習活動を多く取り入れ、優れた地域人材の活用に努めた。	4	9	3	0
発表・話し合い・作文記述等を多く取り入れる等、言語活動の充実に努めた。	5	11		0
読書意欲を高め、たくさん本を読ませることができた。	2	10	4	0
指導の過程における評価に努め、児童の学習意欲を高めたり指導の改善に役立てたりすることができた。	2	14	0	0
<p><成果と今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせをしたり、よい本を紹介したりして、読書に関心を持たせるように努力したが、十分な時間をとることができなかった。朝自習に読書の日を設定するようにしたい。 ・基礎基本の定着は、数名個別に支援が必要な児童がおり、8割に到達していない。 ・授業時数は意識して確保できた。少人数であると学習がなかなか深まらなかった。 ・学習の進め方、ノートの取り方、発表の仕方など、基本的な事項は学校全体で統一しておくといい。 ・ことばの教室は通常指導も行うことから、在籍児童の指導時数の確保が困難でした。担当がもう1名いてくれると、より柔軟に対応ができると感じます。 ・児童が主体的に活動できる場を多く設けた授業の自力解決時に下位の児童に対する支援をもっと工夫する必要がある。 ・基礎基本が定着していない児童が数名いる。授業時間以外で個別に対応する時間をとることも難しく、差がついてしまった。授業中も支援を必要とする児童全員を見るのが難しかった。 ・来年度は、是非読み聞かせをお願いしたい。 				

III 健やかに生きるための健康・安全教育

基本的な生活習慣（挨拶・手洗い・掃除・整理整頓・早寝早起き等）を確立するために、家庭と連携し、個に応じた指導に努めた。	6	9	1	0
児童が朝食の大切さを理解し、進んで朝食がとれるよう個に応じて指導した。	6	10	0	0
外遊びを奨励し、進んで運動に取り組む児童の育成を目指した。	7	9	0	0
体力の向上を目指して教科体育の教材研究・充実に努めることができた。	3	13	0	0
児童が安全安心に過ごせる環境づくり・点検に努めた。	8	8	0	0
交通安全や不審者対応の指導を常に行った。	9	7	0	0
災害発生時の対処法を学年の実態に応じて行った。	9	8	0	0
<p><成果と今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗いについては、歌を作り指導に努めることができた。 ・訓練はもちろん日常的にその都度指導していく必要がある。 ・食育計画、給食指導計画とおりに実施しているが、学年ごとにわかりやすくするため、次年度は資料づくりをしたい。 				

- ・挨拶は比較的良好にできていると思う。
- ・早寝早起きは、家庭との連携が難しかった。
- ・廊下歩行や職員室への出入りの仕方については、徹底する必要がある。
- ・在籍児童の中に、基本的な生活習慣が確立していない家庭があり、定期的に連絡を取り、生活リズムを整えてもらうように話をしてきた。
- ・食事、睡眠、運動を常に心がけるよう学級で指導した。給食もよく食べるようになり、体も積極的に動かす児童が多く見られた。
- ・外遊びをする児童は多い。しかし、朝食をとることなど、基本的な生活習慣の面で心配な児童がいる。

IV 道徳の時間の充実

週1時間の道徳の授業時間を確保した。	3	9	1	0
児童の心に響く授業の展開を工夫した。	1	12	0	0
認め合い、思いやりのある児童の育成に努めた。	4	10	0	0
<p><成果と今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価が入ってくるので、研修が必要である。 ・特別支援学級での道徳の授業の展開の仕方について、研修が不十分だった。 ・道徳の評価について、研修をする必要がある。 ・道徳の時間は基本的に交流学級で行っていただきましたが、必要に応じてことばの教室の国語の時間を使って絵本やSSTを活用して相手の気持ちを考えることを中心に行いました。 ・映像教材を1回しか使用できていないため、今後も映像教材を多く使用したい。 ・授業では活発に意見は出るが、実際の生活で生かしていけるよう展開を工夫していかなければならない。 				

V 生徒指導の充実

生徒指導体制が確立していて、職員間の情報交換が緊密に行われた。	10	8	0	0
児童理解に努めるため、教育相談活動を充実することができた。	6	11	0	0
一人一人がわかる喜びやできた満足感が得られるような支援に努めた。	4	13	0	0
<p><成果と今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童がいろいろな事情をかかえているので、保護者に寄り添えるような対応をしていかなければと思う。 ・家庭環境に課題のある児童に関しては、先生方と気軽に情報交換や相談ができました。それをもとに、本人や保護者への対応がしやすかったです。 ・児童の様子を見るために、一緒に遊んだり、給食を食べたりしてコミュニケーションを多くとった。 ・先生方と情報交換をしながら体制を整えていただいたので、児童に合った支援がしやすかった。 ・個々の特性や生活の背景が様々であるが、効果的な生徒指導の方法について研修が必要と思った。 ・いじめ調査と教育相談を連携して計画的に実施すると良い。 				

VI 家庭・地域と共に子どもを育て、信頼される学校づくり

地域を知り（自然・歴史・文化，人材），地域から学ぶカリキュラム作りに努めた。	3	10	3	0
市の事業・社会教育等への参加を奨励した。	6	9	1	0
保護者との連携を密にし，児童の成長を家庭に連絡した。	10	6	1	0
「児童と共に創る学習・生活環境」を意識した環境づくり（児童の発想を生かす・明るい歌声・作品展示等）に努め，児童を励ますことができた。	4	12	0	0
個人情報管理の徹底・サービスの厳正等不祥事防止に努めた。	14	4	0	0
電話の応対や保護者・地域の人に対して明るく親切丁寧な対応ができた。	10	8	0	0
<p><成果と今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合により地域のことが十分わかっていないので理解していきたい。 ・学校での様子をできるだけ家庭に知らせることができた。 ・旧夷隅町の歴史や文化などに触れる学習カリキュラムを作成するとよい。 ・毎回ことばの教室での学習内容や頑張ったこと，できるようになったことなどをカードに記入して連絡帳と一緒に渡し，成果がわかるように工夫を取り入れました。保護者の方も家庭での発音で気になることなどを書いてくださることもあり，課題を共通して認識できる場面が多くなったように思います。 ・学区が広くなり，地域を知ることは十分とはいえませんでした。地域のことをもう少し知るよう努力していきたいと思います。 ・連絡帳や電話などで保護者の方と連絡を密にすることができた。 				

VII その他全体的にみて，本校の課題やその解決方法等があれば記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの児童が打ち解け合って夷隅小の児童として馴染んできたように思います。これからは，受動から能動，主体的に取り組む児童になってほしいと思います。（縦割り班活動で，6年生が責任を持って進める活動を取り入れる。） ・バス通学の関係で時間の取り方が難しいですが，業間，昼休みなどももう少しゆとりがあるとよいと思います。 ・個別に対応する必要がある児童が多いように感じられます。支援員さんなどの人員がもう少し増えてくれると有難いです。 ・学習面でも生活面でもいろいろな問題をかかえた児童が目立ちます。これからも全職員で共通理解して取り組んでいきたいと思います。 ・1年生は支援員さんについてほしい児童が多いように思います。 ・統合1年目で先の見えない部分もあったが，先生方のお陰で日々の教育活動が順調に行われてきたと思う。 ・次年度は本統合や校舎移転を控えているので，より計画的に，そして，職員が共通理解しながら校務を進めていく必要がある。

全体考察】

〈Ⅰ 学校運営〉

校長が掲げる学校経営目標や経営方針の下、職員が協働体制を組んでそれぞれの職務を全うしている結果が表れている。今後も職員間のコミュニケーションを密にし、協働性の高い、質の高い職員集団をめざしていきたい。課題としては、各分掌の仕事に対する適切な評価の数値がやや低い。今年度各分掌で作成した文書を確実に保存し、次年度活用できるように整備しておくとともに、それぞれの取り組み後の評価や次年度への改善の方向を提示しておくといよい。

〈Ⅱ 確かな学力の定着を図る授業づくり〉

基礎基本の定着については、満足できる状況ではないように思われる。個別に支援を必要とする児童が各学年に複数名在籍しているので、それらの児童への支援を具体的に構築していく必要がある。また、体験的な学習活動の導入や地域素材の利用、読書意欲等に関してもやや問題があるようである。次年度は、各担当から具体的な改善の方策を提示し、全職員が共通理解・実践し、解決していくことが大切である。

〈Ⅲ 健やかに生きるための健康・安全教育〉

安全面では、交通安全・不審者対応・災害への対処など、日常指導や避難訓練などの安全的行事を計画的に実施しているため充実できている。

健康面については、基本的な生活習慣の確立にやや問題があるように思われる。家庭との連携を密にして個に応じた指導を積極的に行っていくようにしたい。

体育・運動面については、休み時間等、外遊びをする児童が多く見られる。職員がともに外に出て遊んでいるのも外遊びの奨励に結びついている。しかし、体力向上や教科体育の充実にやや問題がある。体力向上委員会を中心とした組織的な対応が必要である。

〈Ⅳ 道徳の授業の充実〉

道徳の授業時数の確保はしっかりとできている。しかし、授業内容については十分満足できるととらえている職員が少ない。特に、「心に響く」授業の展開については、更に努力が必要と捉えている。日々、授業研究や教材研究にも積極的に取り組んでいくとともに、評価についての研修も計画的に実施していく必要がある。

〈Ⅴ 生徒指導の充実〉

生徒指導体制が確立し、組織として機能しているという意識が高いことがわかる。生徒指導連絡会における情報の共有が大きな要因と考える。また、全職員が全児童と関わる意識も高いといえる。次年度も担任一人の対応ではなく、組織的・計画的な対応で生徒指導上の課題を早期発見・解決できるように努めていきたい。

〈Ⅵ 家庭、地域と共に子どもを育て、信頼される学校づくり〉

保護者との連絡等、コミュニケーションが密に図れていることがわかる。日々、保護者との丁寧な対応がその要因だと思われる。しかし、地域の教育力の活用とカリキュラム作りには課題がある。地域の特色を生かし、地域に根ざした学校とするためには、やはり授業の中で積極的に地域素材を取り入れていくことが大切である。

